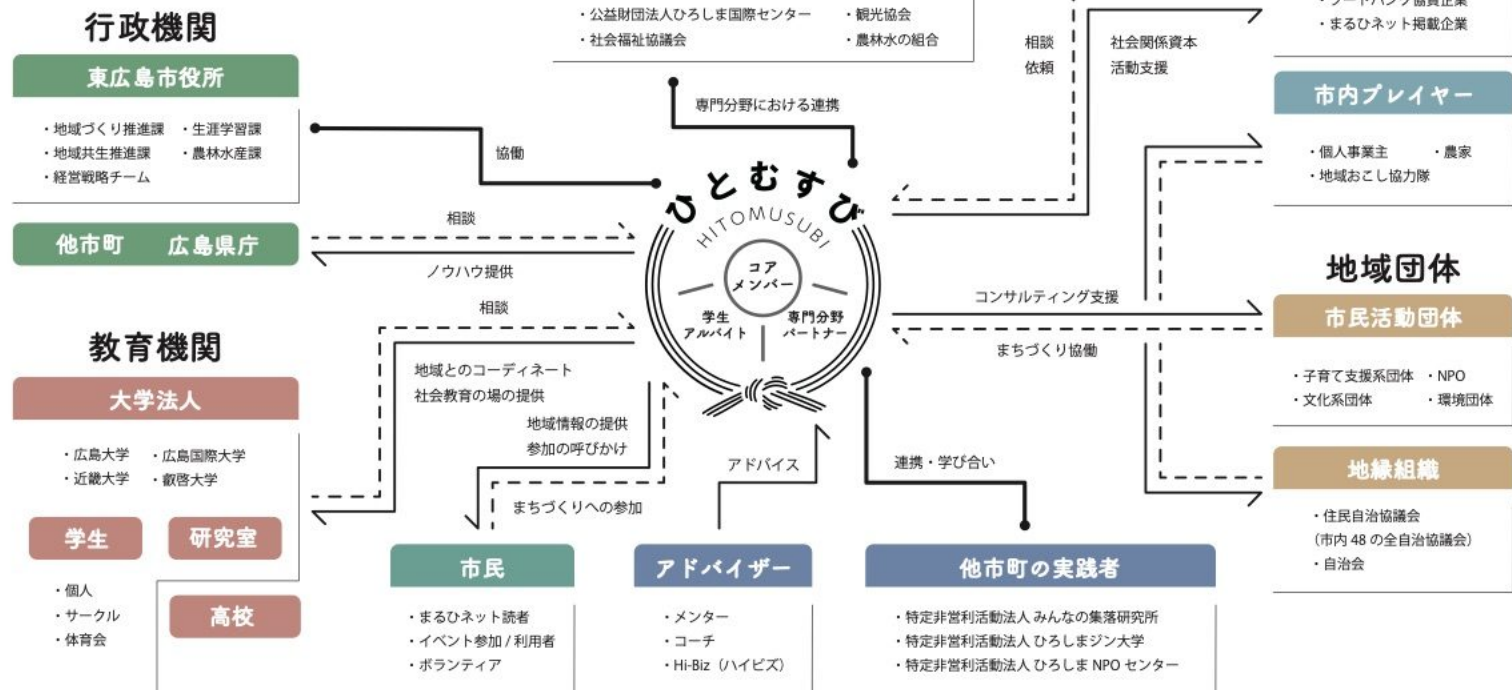


合同会社ひとむすび ステークホルダーマップ



アニュアルレポート 2025 第9期

報告対象期間 2024年5月～2026年4月



2025年度は、一緒に活動する仲間が増え、協働を意識する一年となりました。

ひとむすびの“まちづくり”に参加しませんか？

ボランティア募集

ひとむすびでは、ダイドコロプロジェクト、フードバンク等のボランティアを随時募集しています。詳細は、東広島まるひネットをご覧ください。



寄付募集

ひとむすびでは、「ありがとう」が行き交う地域を実現するために、皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。継続的な活動を続けていくために、ぜひご協力・応援をよろしくお願いいたします。

こちらの寄付サイトからご寄付いただけます。



まちづくりに
関わることで
困っている...

協力できそうなことがある！
ひとまず相談したい。
(ボランティア参加、ご寄付等)

東広島の最新情報や
地域活動をチェック！

ひとむすび公式アカウント



そんな **企業** **個人** のみなさまからのご連絡を受け付けています。

ご相談・ご提案はこちらの
メールアドレスへご連絡ください。

hhhitomusubi@gmail.com

代表あいさつ

まちに必要なものを、
一歩ずつ。

この一年は、不登校支援やダイドコロプロジェクト、フードバンクなどを通じて、地域とともに考え、地域とともに動く一年でした。

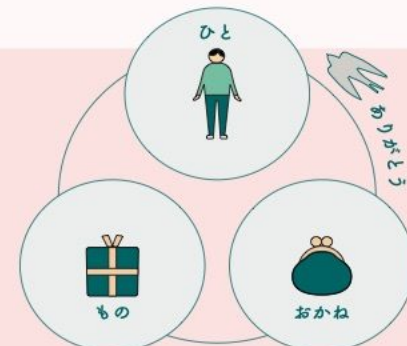
昨年から育ててきた取り組みが少しずつ実を結び、ダイドコロのボランティアさん、まるひネットの新しいライターさん、フードバンクの担い手、そして働く仲間たちが加わり、活動の輪が確実に広がった一年だったと感じます。

これからも、町に必要な活動をひとつずつ積み重ねていきたいと思っています。

アニュアルレポートを手にとっていたいただいた皆さんも、ぜひ興味のあるイベントや事業に参加いただけると嬉しいです。



合同会社
ひとむすび
代表 山田 芳雅



ひと・もの・おかね・ありがとうの循環を促す

事業内容

自主運営プロジェクト

東広島まるひネット

東広島の「イマ」を伝える
Web メディア

ひとむすびのフードバンク フードバンク 東広島

地域内の余った食べ物を
必要とする人に届ける

ひとむすびの場

繋がり・チャレンジの場を生み
出すマルシェやイベント企画

ひとむすびの ダイドコロプロジェクト

誰もがふらっと立ち寄れる
「まちのダイドコロ」をつくる

支援事業

個人・団体支援

- ネットワーク支援 -

子ども食堂
ネットワーク

不登校支援
ネットワーク

学生支援

住民自治協議会支援

市民活動団体支援

つなぐ支援

コーディネート支援

学生・個人・企業・市民団体
など異なるセクターをつなぐ

メンバー

名前／
(出身地)／
担当業務



山田 芳雅
(広島県四日市市)
代表



西 恵味
(長野県須坂市)
各事業企画調整・運営



堀川 南
(広島県東広島市)
学生支援 / 東広島まるひ
ネット編集部 / デザイン



小山 歩優
(徳島県徳島市)
自治協・市民団体
・学生支援



福富 優一
(広島県東広島市)
自治協議会支援



貞本 悠里
(広島県東広島市)
市民協働センター事務
業務 / フードバンク



道面 綾乃
(広島県東広島市)
市民協働センター
窓口業務



上田 祐子
(広島県東広島市)
アドバイザー



永田 さくら(長崎県南島原市)
学生支援・ダイドコロプロジェクト



学生 8 名

「ひとむすび」って、どう？ 関わりの深いみなさまに聞いてみました！

「東広島まるひネット」での編集作業を通じて、東広島にある魅力的な人や店、イベントなどを地域の方に広く紹介しています。読者からの反応があると、市民ライターさんの「素敵な店を紹介したい」という想いが伝わったのかなと嬉しくなります。東広島には、まだまだ、たくさんの魅力的なスポットやイベントなどがあります。そんな「東広島のステキなところ」と読者をつなぐ架け橋に「東広島まるひネット」がなれば良いなと思っています。

読者と「東広島
の素敵スポット」
の架け橋に



東広島まるひネット編集部・編集長 おはる

「ひとむすび」は大学生が地域に出て活動する場を積極的に作ってくださいます。私は地域との対話を通し、イベントの実施や課題解決に取り組みました。地域のために何かしたいという漠然とした思いが、ひとむすびでの活動を通じて具体的な道筋へと変わり、本当に多くの学びと経験を得ました。社会人になっても、何らかの形で東広島の地域発展に貢献出来たら嬉しいです。

大学生が地域に
出るきっかけを
生み出す



広島大学 大学院統合生命科学研究科 央戸 愛

ダイドコロプロジェクトと、不登校支援ネットワーク「connect+」の活動に関わっています。「子どもたちはきちんとご飯を食われているだろうか」「人との関わりが少なくなっている子がいるのではないか」と感じたことが、活動に関わるきっかけになりました。ひとむすびでの活動では、フリースクールを運営する自分自身の経験や知識を生かしながら、みんな楽しく関わることを大切にしています。活動を通じて新しいつながりや学びが生まれ、フリースクールの子どもたちや保護者の方に伝えられることも増え、「つながる支援」を実感しています。

子どもたちを
支える
「つながる支援」



はぐくむ moco moco 山下久美恵

ひとむすびのフードバンクで、学生ボランティアとして活動しています。余った食べ物などを活用した支援に携わる中で、持続可能な活動を続けていくためには、人々からの支援や在庫管理などを含め、ただ運営するだけでは成り立たないことを実感しました。現在は広島県内での就職を目指して就職活動を行っており、ひとむすびのフードバンクでの活動を通して得た経験を、今後の仕事に活かしたいと考えています。これからも地域の方々、特に東広島市の人々と多く関わりながら、地域を盛り上げ、地域創生に貢献していきたいです。

フードバンク活動
から広がる
地域とのつながり



広島大学 経済学部 小路 結太

自主運営プロジェクト

街を豊かにする「仕組み」や「場」を自分たちの手で作り、育て、地域の中で循環が回り続ける状態を目指す事業です。

1 東広島の「イマ」を発信し、住民をオンラインでつなげる



まるひネット
キャラクター
「ひがこ」



市民ライターが日々更新中！
▼最新の記事はこちらからご覧になれます。

東広島まるひネット
by ひとむすび



東広島まるひネットの運営

東広島市の「イマ」を伝える Web メディアを運営しています。まちのお店のオープン情報やイベント情報など、市内各地に住むライターならではの地域に根付いた情報を発信し続けて

います。ライターはお母さん、お父さん、若者、大学生と年齢層も立場も様々。2018 年の開始当初から毎日欠かさず更新し、地域の方からも愛される Web メディアとなりました。

2 余った食べ物を必要とする人に届け、ありがとうを循環させる

「地域内の余った食べ物を必要とする人に届け、ありがとうの循環をつくりだす」ことを目指し、東広島初のフードバンク「ひとむすびのフードバンク～フードバンク東広島～」を開設しています。



食べ物を 詳しくはこちらから ▼
●持ち込みたい方も、
●受け取りたい方も
お越しいただけます。



フードバンク東広島 毎月 8 のつく日に開設 東広島市高屋町中島 415

2023 年 2 月から開設しているひとむすびのフードバンク。まだ十分に食べられるにも関わらず廃棄されてしまう食品をご家庭や企業から集め、東広島市内および周辺地域の子どもの食堂や、支援を必要とするご家庭・個人の方々に無償で提供する活動を行っています。取り扱う食品量や連携団体も増え、ボラ

ンティアの皆さんも活動に参加してくださり、多くの方に支えられながら活動を続けています。この活動を通じて、廃棄されるはずだった「誰かの余り」が、困っている誰かの「希望」となり、食べ物を通じた「ありがとう」が地域中に巡り続けるよう、活動を続けていきたいと考えています。



3 みんなでご飯を作って、みんなで食べる

「ダイドコロプロジェクト」は、誰もがふらっと立ち寄れる「まちのダイドコロ」をつくる取り組みです。



ひとむすびのダイドコロプロジェクト

ダイドコロプロジェクトでは、子どもも大人も通りがかりの人も気軽に集える場として、300 食分の豚汁とごはんの炊き出しと、大縄跳びや段ボールハウスのような遊びの企画を実施しています。大切にしているのは「気負いなく参加できること」。「あげる側」「もらう側」の役割を完全に分けないことで、当日ふらっと立ち寄り、調理や配膳、遊びの

見守りなど、自分のできることを生かして参加することが出来ます。当日は子どもから学生、大人、定年退職後の世代まで幅広い世代が集まります。あなたにとってダイドコロとは、どんな場所でしょうか。家族と過ごす場所、お腹を満たす場所、安心できる場所——このプロジェクトがまちの人々にとって大切な、「みんなのダイドコロ」になることを願っています。

4 地域の良いものが集まる場

東広島の魅力的なひと・ものが集まるマーケット「ひとむすびの場」を企画・運営しています。地域のお店とお客さまをつなぎ、温もりあふれるイベントを開催します。



HIGASHI HIROSHIMA MARKET
～東広島マーケット～

東広島マーケットの開催

事業者同士のつながりやチャレンジの場を生み出すことを目的とした「東広島マーケット ひとむすびの場」を開催しました。おなじみの店から新規のお店まで、フード、雑貨、ワークショップ、SDGs に取り組む事業者などさまざまな出店があ

西条中央公園（東広島市立美術館前）

りました。9 月にはナイトマーケットを開催し、会場にキャンドルナイトの明かりが灯されました。東広島の「ものづくり」「ことづくり」の力がつながりを深めながら底上げされ、地域の元気につながっていく場をつくり続けています。

支援事業

個人や団体の想いに寄り添い、伴走やコーディネートを通して、協働と自立につながる一歩を支える事業です。

5 同じ思いを持つ人 同士をつなげる

それぞれの事業者の思いや目標をゆるやかにつなぎ合わせることで、まちにとって大きなインパクトを生み出しています。



不登校支援ネットワーク 「自分らしく生きる子どもの未来を応援する」伴走者となるために

全国では小中学生の約 30 人に 1 人が不登校と言われており、不登校は「一部の子どもの問題」ではなく、どの子にもどの家庭にも起こり得る「まちの課題」となっています。背景にはいじめや家庭環境、発達特性など、一人ひとりに多様な要因があり、解決策も一つではありません。だからこそ行政や学校に加え、地域の支援団体や専門家、市

民がつながり、それぞれの強みを活かして支える仕組みが必要です。そのネットワークとして生まれた「connect+」では、支援情報を集約した「東広島居場所まっぴ」の作成や、当事者・保護者・教育関係者が声を聴き合うシンポジウムを実施。点に在っていた支援をつなぐ取り組みが広がり、「支援者の存在を知り安心した」という声も届いています。



子ども食堂ネットワーク つながりが生む安心と継続、子ども食堂の未来へ

東広島市には現在、25 か所の子ども食堂・地域食堂が力強く活動しています。ひとむすびでは、子ども食堂の運営者が集まる会を開き、現場のリアルな課題や成功事例を参加者同士で共有しています。こうした交流を通じて、運営者同士が悩みを分かち合い解決のヒントを得るだけでなく、お互いの工夫や経験から学び合いながら

より良い活動へとつなげています。また孤立しがちな運営者たちが支え合うことで「心強さ」を感じられ、地域のニーズに合わせた支援や新たな取り組みも生まれやすくなっています。活発な議論と実践的なアイデアの交換を通じて、誰もが安心して子ども食堂を継続できる環境づくりを目指していきます。

6 学生と地域が ともに育つまちへ

地域というフィールドで、学生が力を発揮し、成長していく。学生が自ら考え行動し、地域とつながるきっかけを広げる支援を行っています。



pick up 町家プロジェクト 学生企画が生む学びと交流

酒蔵通りの古民家「町家」では、広島大学の学生が主体となり、地域の子どもたちを対象にしたイベントを企画・実行しています。令和 7 年度の活動では、各学生団体の特色を生かしたワー

クショップやゲーム企画を実施。学生が「自らの手で企画を形にしていく力」を育むために、ひとむすびでは広報や運営相談など、後方からのサポートを行っています。

pick up 大学生と地域をつなぐ 「ひとむすび」の場

大学生と地域の人が、お互いの考えていることや困っていることを共有しあう「ひとむすび」の場を開催しました。普段はお互いに関わることが少ないからこそ、それぞれの悩みや困りごとを「まずは知る」ことに、大きな意味があると考えています。今後も対話と実践を重ね、地域と学生がともに歩む関係づくりを進めていきます。



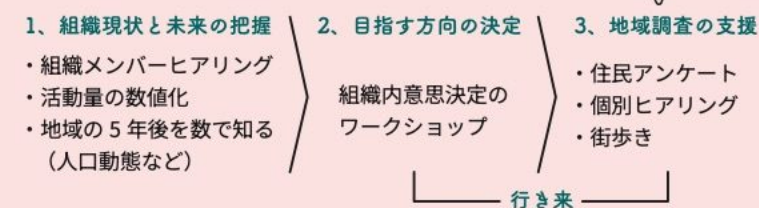
7 地域の 5 年後 を共に考え、 支援する

ひとむすびでは、一歩先の視野を持ち半歩先の支援ができるよう心がけながら、東広島市内に 48 ある住民自治協議会の支援に力を入れています。

pick up 地域それぞれに合わせた 課題解決の処方箋づくり

地域の代表者へのヒアリングから始まり、地域ごとの状況に合わせた解決方法を提案し、共に実行していきます。「5 年後を見据えましょう」という問いかけから視野を広げ、地域内の意思決定のためのファシリテーションや地域の声を聞くアンケート調査の内容作成・実施支援などを行っています。

支援の流れ



地域に合わせてご提案